

「絵本 de SDGs」

1. 事業の概要

○ 事業の趣旨

絵本の読み聞かせを親子で行うことにより、子どもの感性を育むとともにSDGsについても関心をもってもらう。

○ 実施期間

令和3年11月27日（土）10:00～12:00

○ 対象者・参加者数

高知県の小学生を含む親子 8組25名／20組40名程度（人数／定員）

○ 活動プログラム

時刻	内容
10:00	受付・はじまりの会
10:30	プログラム（「絵本 de SDGs」、「絵本 de ペーパーバック」）
12:00	おわりの会・解散

2. 活動の様子

最初のプログラムでは、絵本の読み聞かせをとおして、最近よく耳にするSDGsについて分かりやすく説明を行った。読み聞かせでは子どもだけでなく大人も真剣な眼差しで絵本へ向かっていた。中には、「絵本の素晴らしさを改めて感じた。絵本の内容に感情移入してしまった。」と涙ぐむ方もいた。

次のプログラムでは、読み聞かせをしてもらった絵本の表紙カバーを素敵なペーパーバックへアップサイクルした。子どもも大人も先程の絵本の話しながら黙々と制作に励んでいた。また、難しい作業は周りの友達同士で助け合う姿もみられた。



3. 事業の成果と課題

○ 参加者の感想

- ・ 絵本カバー、すぐに捨ててしまうので気になっていたが、バックの作り方がわかってよかった。
- ・ 子どもと一緒にできるイベントが少なくなっていたので娘と2人の時間をもててうれしかった。
- ・ 絵本を改めて手にとり、ゆっくり見るいい機会となった。

○ 事業の成果

学校教育においてもSDGsについて学ぶ機会が増えているが、絵本をとおして“学ぶ”前の“知る”機会を提供することができ、SDGsへの興味関心をもたせることができた。

○ 事業の課題

参加者の満足度も高かったが、低学年女子児童に参加が偏る傾向にあるため、より多くの児童に絵本の大切さやSDGsについて知る機会となるよう広報の方法を再検討する必要があると感じた。